

会 議 名	第 18 回 港区景観審議会
開 催 日 時	平成 29 年 10 月 10 日(火曜日) 午後 7 時 00 分から午後 9 時 00 分まで
開 催 場 所	区役所 5 階 512 会議室
委 員	(出席者) 大倉 富美雄 委員 倉田 直道 委員 齋藤 潮 委員 沼田 麻美子 委員 山崎 誠子 委員 渡邊 大志 委員 岡元 隆治 委員 小倉 敬子 委員 須佐 直人 委員 (欠席者) 杉山 朗子 委員
事 務 局	街づくり支援部長、街づくり事業担当部長、都市計画課長、開発指導課長、 土木施設管理課長、街づくり計画担当係長・係員、景観指導係長・係員、土 木監察担当係長
傍 聴 者	1 名
会 議 次 第	1 開会 2 議事 (1) 委員委嘱 (2) 港区景観審議会の所掌事項について (3) 会長及び副会長の選出 (4) 審議事項 ・第 2 回区民景観セレクションの実施について (5) 報告事項 ・「港区屋外広告物景観形成ガイドライン (案)」について 3 閉会
配 付 資 料	資料 1 港区景観審議会委員名簿 資料 2 港区景観審議会の所掌事項について 資料 3 第 2 回区民景観セレクションの実施概要 資料 4 「港区屋外広告物景観形成ガイドライン (素案)」についてのご 意見募集結果 資料 5 第 17 回港区景観審議会以降の「港区屋外広告物景観形成ガイド ライン (案)」の変更点 資料 6 港区屋外広告物景観形成ガイドライン (案) 概要版 資料 7 港区屋外広告物景観形成ガイドライン (案)

	<p>参考資料1 港区景観表彰の概要と第1回区民景観セレクションの結果について</p> <p>参考資料2 第1回区民景観セレクションに対する主な意見について</p> <p>参考資料3 第1回区民景観セレクション募集ちらし</p> <p>参考資料4 港区景観表彰実施要綱</p> <p>参考資料5 港区景観表彰選定審査会運営要領</p> <p>参考資料6 港区景観計画抜粋（景観形成の基本方針）</p>
会議の結果及び主要な発言	
	<p>2 議事</p> <p>(1) 委員委嘱 (副区長から各委員に委嘱状を交付)</p>
	<p>(2) 港区景観審議会の所掌事項について (事務局から説明)</p>
	<p>(3) 会長及び副会長の選出 (会長に齋藤委員を選出) (副会長は杉山委員を選出したが、欠席のため、後日了承を得た上で決定とした。)</p>
事務局	<p>(4) 審議事項「第2回区民景観セレクションの実施について」 (説明)</p>
A委員	<p>第1回からの改善点のほうで、応募方法の改善で、周知先や周知方法の工夫を図ると書いてあるが、具体的な周知先のイメージはあるか。</p>
事務局	<p>第1回の募集に当たっては、広報誌及びホームページに掲載に加え、総合支所を含む区有施設へのチラシ、ポスターの備えつけ、屋外の区設掲示板への掲示を行うとともに、JR、地下鉄等の駅施設にも掲示の依頼をした。また、直接配布として、全町会、自治会へのチラシの送付や、タウンフォーラムなど区民の方々が参画する会議体での配付に加え、建築学会、建築士会等の団体にも配布を依頼した。その他にも、例えば類似の事業である観光フォトコンテストと連携を図り、ホームページへのリンクを貼るなど、様々な周知を行った。</p> <p>第2回に向けた工夫としては、例えば第1回において在学の方の募集がゼロ件であったことを踏まえて大学への周知を積極的に行ったり、もしメインテーマが「東京タワーの見える景観」ということになれば、東京タワーの方にも直接ご説明をして、周知の協力などをお願いしていくなど、第1回以上に効果的な周知をしていきたいと考えている。</p>

<u>B委員</u>	応募写真などを元にその場所の景観を表彰しているということだが、応募者自体を表彰しているものではない中で、どのように応募者のモチベーションを上げていくかが重要であると思う。その辺の工夫はどう考えているか。
<u>事務局</u>	まず区民景観セレクション設立の経緯としては、受賞者は設定せず、選ばれた景観を広く周知、共有していくことに主眼を置くということでスタートした。その一方で、応募者のモチベーションを上げることが重要であるという点をご指摘の通りであり、第1回グランプリに選ばれた応募者には、記念品をお贈りすることとしている。
<u>B委員</u>	同じ場所を複数の方が応募したケースはあるか。
<u>事務局</u>	今回のセレクションには選ばなかった場所だが、そうしたケースはあった。
<u>B委員</u>	もしグランプリに選ばれた場所が複数の方からの応募であった場合は、記念品も複数の方に贈る想定か。
<u>事務局</u>	そのようになる。
<u>C委員</u>	基準ごとの採点とした場合、地域性やテーマとの合致というのは採点しやすいと思うが、波及性や発見性の評価が難しい。そもそもこれらがどのような視点であったかを含めて教えてほしい。
<u>事務局</u>	波及性は、その景観が選ばれたことで、その地域の方々の主体的な景観を守る活動などに発展する見込みがある、もしくは、その地域をモデルとして他の地域での活動に波及が見込まれる、これが波及性の考え方である。発見性は、皆さんがよく知っている代表的な景観ではないが、ぜひ知ってほしい場所という視点である。
<u>C委員</u>	この議論は今日の審議で決定するのか。
<u>会長</u>	事務局としてスケジュール上どうか。例えば、今日結論が出ず、波及性を他の基準に変えた方が良いなどという話になった場合、議論の時間はあるか。
<u>事務局</u>	スケジュールの面から言うと、第1回の課題を踏まえて応募期間を長く取るという視点もあるので、もしスケジュールに差し支えがない範囲内で皆さんの同意が得られるのであれば、そのような議論も必要と考える。

<p><u>会長</u></p>	<p>今回のタイミングで仮に間に合わなくても、今の委員の任期中に次回の実施があるので、その際には改善が図られるように議論をしておくことは重要であろう。委員としては、波及性、発見性については改善の余地があると考えているのか。</p>
<p><u>C委員</u></p>	<p>例えば予備選定資料イメージとして掲載している3枚の写真を見て、皆さん採点ができるか。仮に内容の説明があったとしても、点数になると差が出てきてしまうような気がして、難しいと感じる。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>応募者に推薦理由を細かく書いてもらうという方法もあると思う。また、仮に地域主体の活動があるような場所が応募された場合には、備考欄等を設けてその旨を記載するという事も考えられる。</p>
<p><u>D委員</u></p>	<p>その場合、例えば地域で取り組んでいる方々の生の声など、応募者とは別の第三者の意見なども確認して伝えてもらえれば、よりわかりやすくなると思う。</p>
<p><u>B委員</u></p>	<p>先ほどの応募のモチベーションとも関連すると思うが、目的を記載することが必要だと思う。例えば私だけが発見したものとか、生活する中で初めて気がついた部分などを募集して、それによって、港区界限の方々の景観に対する視点を深めてもらうなど、目的をはっきり書かないと、何のために応募するのがわからないと応募者のモチベーションが高められないし、審査側もどの点から審査したら良いかがはっきりしない。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>第1回は、あなたが誇り、愛着を持つ港区の街並み・街かどの景観を応募しませんかという説明しかなかったので、どういう趣旨でセレクションをやっているのかということ、応募テーマが仮に東京タワーであれば何故東京タワーを選んだのかなど、応募者に理解してもらえそうな工夫をしたい。</p>
<p><u>E委員</u></p>	<p>2つの話が今話題になっているが、まず1番の問題は32件しか集まらなかったという点で、もう少しモチベーションを上げる工夫をすべきという意見だと思う。少なくとも、100から200など、区としてこれくらいの数を集めますと言った上で、モチベーション上げる、港区景観百景を集めているので、あなたの1票でそのうちの1景を作りませんか、と言われたほうが良い。</p> <p>前回32件だったので、今回工夫をして何件を目指す、それでも数が少なければ止めた方が良いのではなどという話にもなりかねない。目標を何件にするのか。200件集めるのか、最低でも100件だろう。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>23区内で表彰を実施している他自治体の実績を聞いても、200という数字を実現している例はあまり聞かないのが実状でもある。まずは100を目指したい。</p>

<p><u>E委員</u></p>	<p>もう1つは採点の話で、例えば、今回東京タワーの見える景観というのは還暦60年を迎える意味でもタイミングはぴったりだが、地域性といってもどこからでも見えるし、誰もが知っているから波及性も無いなどとなる。選定基準にあるそれぞれの視点は重要だが、これらは、こういう視点もありますよと点数を付加する性質のものであり、単純に合計点を出して、点数が高いからといった選び方は良くないと思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>選定基準は応募者に公表していないのか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>第1回の実施に当たっては公表しなかった。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>皆さんの意見を踏まえると今回公表するというのも問題があるので、公表はしない、ということにしたとしても、実施要綱には規定されていることから、審査にあたっては全く無視することはできないだろう。スケジュールに余裕がない中で、応募の際には公表せずに、実際に審査が始まったときに、内容について徹底的に議論をして詰めていく。採点方法についても、もともと抽象的でお互い独立して次元が違う話をそれぞれ得点化して合計してもあまり意味がないような気がする。例えば点数化するとしても項目別にやるかどうかは検討を要する。</p> <p>また、波及性や発見性といっても、それに関連する情報を事務局が事前に調べて提供できるかも課題である。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>予定では予備選定が3月からになっているので、その前に再度景観審議会を開催するということでどうか。事務局としては、多くの応募が集まるよう努力し、集まったものを見ながら審査のあり方を改めて議論するという流れでお願いしたい。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>資料の中で、募集の際に審査基準を明示するとなっているが、今回は入れないということで良いか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>そのようにしたい。</p>
<p><u>F委員</u></p>	<p>前回の経験でいくと、やはりここに挙がっているもので景観を評価するというのは難しいし、なおかつ数値化して評価項目に対して点数を入れるというのは、景観にはなじまないと感じる。最終的にはポイントを入れてどれかを選ぶという程度のことは良いと思うが、テーマによって評価基準も変わってくるであろう。</p> <p>それから、目的とモチベーションというのは、結構関連していると思う。他の自治体で百景の選定委員長をやったが、応募が1,000件を超えている。今回のセ</p>

	<p>レクシオンと何が違うかという、今回のセレクションは、どちらかというコンテストになっている気がする。1回やってしまったら終わりという話ではなく、最終的に港区景観百選など、景観資源のリスト化につながっていくということになれば、応募者も積極的に自分たちの港区の誇れる景観を自分で推薦しようという思いにつながってくる。</p>
<u>会長</u>	<p>この実施概要の中にも、数年ごとに分類ごとにセレクションを蓄積していくという発展的なニュアンスが含まれているわけだが、それをこの募集要項に明記した方が良い。</p>
<u>F委員</u>	<p>1年で百選を決めるということではなく、景観資源のリスト化を継続してやっていき、ある程度資源が明確になってきたときには、例えば建物であれば景観重要建造物につながるなど、次の展開が少し見えた上でやるほうが、動機もはっきりして応募者が増えるのではないか。</p>
<u>会長</u>	<p>応募案内に審査基準を明示するのではなく、応募された景観が今後どのように扱われていくのかを明記する方が良い。</p>
<u>事務局</u>	<p>そのようにしたい。</p>
<u>A委員</u>	<p>私は千葉市の都市文化賞の選出に関わっているが、千葉市では応募件数が最初は7、次が14、32という状況だったので、最初が32というのはレベルが高いと思っている。また、件数が増えたといっても、同じ人が何件も応募してくるということもある。例えば前回選ばれた方が今回10件ぐらい応募してくる可能性もあるが、1人何十件も応募して良いのかという点はどのように考えているのか。</p>
<u>事務局</u>	<p>前は1人複数件の応募について特に明記はせず、結果としては複数件の応募もあったが、大体1人1件という結果となった。今回は、1人複数件の応募を認めていくが、ご指摘のとおりただ件数を稼げばいいわけではなく、特定の方が10件応募というのも偏りがあるので、上限を明示して募集したい。</p>
<u>F委員</u>	<p>私の経験でも、特に百選などでは組織票のようなものは存在する。</p>
<u>会長</u>	<p>制限は設けたほうが良いかもしれない。</p>
<u>B委員</u>	<p>前回の応募用紙の中で、写真を2Lサイズ以下で添付して応募するという記載があるが、そもそもインターネットが一般的であり、若い人はiPhoneなどを使用するであろうから、応募方法はネット化するのが良いであろう。</p>

事務局	<p>前日もホームページから写真データを添付して応募いただくことは可能な形で実施している。スマートフォンでもQRコードを読み取れる形にしているの、今回もこちらは進めていきたい。</p>
会長	<p>G委員から意見はあるか。</p>
G委員	<p>私は町内会に入っており回覧板が回ってくるが、前回の応募ちらしを見たことがない。それで、問題だなと思ったのは、ターゲットが明確ではないという気がして、先ほど大学で配るという話があったが、例えばハードルを下げて、例えば中学校に配れば各家庭に入る。最近はマンションが増えたので、町内会に入らない人もいたので、なかなか見る機会がない。また、私などは駅にも行かないので、実はあまり目にする機会がないことなどから、やはり周知が足りておらず、それが応募の少なさにもつながっているのではないかと思う。</p> <p>もう少し細かいところまでチラシを配るなり、ほんとうにこう港区のネットワークを使うホームページやツイッターなど、いろんなことで拡散していけば、若い人の目に触れるだろうし、在住の方にももっと目が触れる感じがする。</p>
事務局	<p>企業との連携もあるので活用していきたい。また、回覧板で回す件については、各地区の総合支所に確認したい。</p>
H委員	<p>ちらしを配っても応募者のモチベーションをなかなか鼓舞できないというのは非常に難しい問題だと感じる。また、今回のメインテーマ案の東京タワーの見える景観も、応募者にとっては東京タワーの見える範囲を固定して見る人もいれば、東京タワー全体が見えるこの辺りが良いという人もいる。また、文章で書くとしても、実際に何丁目何番地のどこを書くのかなどの問題も出てくる。そうした問題への対処として、例えばだが、参考例を100点ぐらい出してその中から選んでも良い、といったくらいのことをしないと、一般の応募のレベルは上がってこないとも感じる。そうすれば、場所も特定できて、それがいいという人もいるし、嫌だという人も出てくるであろう。何かそのような具体的な景観の提案の仕方を入れるという考えもあるのではないか。</p>
会長	<p>東京タワーだと、写真を撮って終わりになってしまうかもしれない。</p>
F委員	<p>今回、対象を東京タワーとした場合、どこまで多様なものが出てくるだろうか。逆に言うと、百選の中に東京タワーがたくさん入ってくるようなイメージが持てるかということ、そうでもないと思う。若干テーマ設定が安直な気もしており、どこから東京タワーを撮るかという視点場の競争になってしまうのではないか。応</p>

	<p>募者側も、どこまでそれが動機につながるかというと、もう分かり切っているものもあるので、逆にやってやろうという感じになりにくい気がする。</p>
<u>会長</u>	<p>メインテーマの案2「昔ながらの雰囲気や寺町の風情など、味わい深い歴史・文化を感じる景観」もあるが、これはどうか。また、東京タワーのほかに「地域の身近なランドマーク景観」というものもある。</p>
<u>F委員</u>	<p>一般の人たちは、ランドマークとは何なのかという時点で、そこにもうハードルがあるような気がする。</p>
<u>会長</u>	<p>地域の身近なランドマーク景観とは、例えばこんなものですよという例示であればしやすいだろう。</p>
<u>F委員</u>	<p>案2の歴史・文化を感じる景観の方が幅があり、先ほど申し上げた景観資源のリスト化につながっていく気がする。</p>
<u>事務局</u>	<p>皆さんに様々な意見をいただいたが、動機とモチベーションというのが共通の意見だったと思う。事務局としても募集方法に工夫を加えたい。募集テーマもモチベーションにつながるので、歴史・文化を感じる景観として、応募しやすいように、幾つか例示をするということもあると思う。最終的には、リスト化、百景などに繋げていくということも明記した上で募集をかけていきたい。本日の議論を踏まえて応募ちらし案を作り、委員の皆さんにメールで送らせていただき、ご意見をいただいた上で、まずは11月に応募を開始するということをお願いしたい。また、予備選定前に、集まったものを見ながら採点の方法についても一度議論をする場を設けるという流れで進められればと思うが、いかがか。</p>
<u>会長</u>	<p>では、そのような形で進めてもらいたい。このことについて質問、意見はないか。</p>
<u>H委員</u>	<p>あまり文章を多く入れると読んでもらえないので、注意してほしい。</p>
<u>事務局</u>	<p>モチベーションという意味では目的を理解してもらい必要もあるので、そこは簡潔に文章化したい。</p>
<u>会長</u>	<p>年を追うごとに成長していくものなので、最初から完璧を狙わずに、少しずつレベルアップをしていければ良い。今回の最大の目玉は周知期間を2カ月から3カ月に延ばしたということなので、これだけは守れるようにしてほしい。</p>
<u>事務局</u>	<p>周知方法も、企業連携や大学連携などのネットワークを生かしていきたい。</p>

F委員	大学については、ピンポイントで教授を狙って依頼した方が良い。
E委員	お寺に全部声かけたら応募が上がるかもしれないが、お寺ばかり集まってもしょうがないだろう。歴史物は大体明治以前が多いので、そればかり揃ってしまうのも港区らしくないので、味わい深い歴史・文化を感じるという中に、昭和を感じるとか、そういうのを入れておけばまだ良いとも思う。応募件数はぜひとも100以上でお願いしたい。
会長	それから、事前に十分に議論する暇がなく、スケジュールばかり進んでしまうということもあるので、1年先のことを事前に議論するというような機会の確保もお願いしたい。選定基準については、本来は要綱も改定してやれば良いとは思いますが、改定せずとも、その解釈について合意が取れていれば対応は可能であろう。
H委員	メインテーマ部門と選択応募部門の分類が良く分からないので説明をお願いしたい。
事務局	基本的には今年はこのメインテーマで募集したいと打ち出しつつも、愛着を持っている景観を応募したい方がテーマと合致しないので応募を断念する、ということを防ぐべく、そうしたものも毎年受け付けていけるような仕組みをつくりたいという趣旨である。違いが分かるようにちらしに表現したい。
会長	状況に応じて、次年度のメインテーマとして募集実績を引き継ぐといったやり方も可能であろう。
(5) 報告事項「港区屋外広告物景観形成ガイドライン(案)」について	
事務局	(説明)
会長	本件は景観審議会においてその内容を審議するというのではなく、報告を受けたことに関して意見を述べ、その反映については専門の検討部会で議論されるということである。検討委員会に携わっているF委員から補足はあるか。
F委員	既にこの審議会でも意見をいただいたり、区民意見も含めてかなり修正を重ね、細かい文言や特に写真については相当念入りに入替えなどをしてきた。そういう意味では、他の自治体の経験と比較しても、非常に良いガイドラインができたのではないかと考えている。あとは、これをどのように活用していくかが重要であろう。

<p><u>会長</u></p>	<p>事例写真を掲載するというのは大変なことで、広告主の許可もあるし、偏りがあっても良くないなど、大変な取材力が求められる。 その他、皆さんから意見があればいただきたい。</p>
<p><u>C委員</u></p>	<p>39ページの右下の「豊かな緑が際立つ品格が感じられる表示」の部分の色味が他と異なるのではないか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>修正する。</p>
<p><u>F委員</u></p>	<p>結構写真を入れかえたりしているので、そのときに連動してキャプションも変更しなければならないが、変更されずに古い情報が残っているということもあった。そういう意味で違う目で見ると気が付く点もあると思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>48ページの広告物の写真の画質が悪いと感じる。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>今回の資料の解像度が低いため、このようになっている。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>他にはないか。それでは引き続き策定を進めていただきたい。 それではその他、皆さんから何かあるか。</p>
<p><u>E委員</u></p>	<p>本日、席上配布されたみどりの街づくり賞のパンフレットの3ページで、駐日オーストラリア大使館とあるが、オーストラリア大使館の間違いだと思う。 なお、大使館について在日と駐日の表記が混在しているが、一般的には駐日というのではないか。それぞれ違うのかもしれないが、統一して駐日にした方が良いと感じた。いずれにしても、国名の間違いについては対応が必要ではないか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>大変失礼した。間違いの箇所はシール等で対応したい。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>3 閉会 次回の港区景観審議会は、3月頃に開催することとする。</p>
<p></p>	<p>閉会</p>